

Tokyo
Steel-rib
Fabricating
Association
Report **東構協**
<http://www.tsfa.jp/>

2025 年 (令和 7 年)

新春号

[第 34 号]

発行 東京鉄構工業協同組合
〒 104 東京都中央区八丁堀 3-9-5 KSビル6階
- 0032 TEL : 03 (5566) 1595
FAX : 03 (5566) 1597



コミュニケーション

理事長 吉岡 晋吾

新年あけましておめでとうございます。

24 年は、1 月に能登半島地震や羽田空港の事故等、暗いニュースでの年明けとなった。また、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症はピークを過ぎ落ち着いてきたものの、世界各国での紛争は止まることなく、さらに過激化している。日本国内では、インバウンド需要が戻ってきてはいるが、物価高騰に個人消費が追い付かず、マイナス傾向が継続している。また、依然として人手不足や原材料の高騰などにより、日本全体にとっても厳しい状況下が続いているため、我々鉄構業界においても同様に、建設費の増大による物件の延期や中止が相次ぎ、特に中小物件の落ち込みが著しい状態が続くと思われる。

また、25 年には全人口の 5 人に一人が高齢者になり、団塊の世代である 75 歳以上の人口が 800 万人に達し、医療、介護、雇用、福祉などに及ぼす深刻な影響、人材不足や後継者問題、医療費の増加などが予想される。それにより、業界では人手不足が加速、DX 推進や労働環境の整備が求められる。M & A による事業継承も一つの解決策になりうる時代になるだろう。

また、社会保険料の増大により、1

割負担で残り 9 割を現役世代が支えている。建設業は 29 歳以下の割合が減少し、55 歳以上の従事者は 3 割を占めているため、高齢者や女性、外国人などを新たに雇用するための整備をするとともに、労働環境を改善して若年層の労働者の取り込みを行い、DX 推進により業務全体を効率化し業務の省力化に取り組むことが、業界の存続のためにますます肝要になると思われる。

運送業界では、24 年 1 月から改正労働基準法が施行し、ドライバーの時間外労働時間の上限が 960 時間に制限されたことで、運送会社の収益減少や運賃の値上げや残業のできないドライバーの離職が起り、さらに 25 年には高齢者の従業員が離職していくため人材の確保が困難になっていくだろう。

25 年は巳年。再生と変化・脱皮を繰り返して強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する生き物、また、「神の使いとして努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起の良さを表している。

25 年は大阪万博が開催され、インバウンドや景気回復の切り札になると期待されている。本年度、東京鉄構工業協同組合は、年 11 回の理事会（出張理事会・ウェブ理事会を含む）、年 6 回の東構塾、三役会、年 2 回のゴルフコンペ、地区会（東、西）を開催を

して、組合員、協定会、関係団体との情報交換を図る。

また、その他各種講習会、勉強会の開催、後継経営者や管理職の教育と外国人研修制度の斡旋や女性従業員の積極的な採用を図り、さらに働く環境の整備を行い永続的な人手不足を解消する努力をしていく。

また、AI 等の有効活用は仕事の効率化・人手不足解消につながると思われるが、基本的な人と人のコミュニケーションがそれらすべてを解決する大切な要素であるに違いない。まずはそこから始め、老若男女の全ての力を合わせて頑張っていきましょう。

余談だが、今年は太陽フレア（太陽における爆発現象）が活発な年になるといわれている。太陽の寿命が半分過ぎていようだが、100 億年といわれる太陽の寿命があと 50 億年残っているので、特に問題はないと思われる。昨年同様、今年も夏の暑さが長引くといわれているのは、それに何か関係があるのか定かではないが、強い太陽フレアが発生すると強力なプラズマが地球へと降り注ぎ電子機器や通信機器に悪影響を及ぼす可能性があるからだそう。また、プラズマ粒子が地球表面の大気とぶつかって見事なオーロラを生み出す場合もあるようで、北欧、北米や日本では稚内で見られる。露天風呂に入りながらオーロラがみられる絶景スポットもあるようなのでいつの日か行ってみたいと思う。

今年も健康第一、安全第一、そして楽しく仕事をしていきたいと思う。よろしく願いいたします。

(吉岡工業社長)

組合理事役員

年頭のあいさつ

合成の誤謬



副理事長

松田 一朗

突拍子もない話ですが、読んでみてください。

- ①満員のコンサート会場で火災が起きた。観客は非常口に向かうのが安全だと思っただが、大勢が狭い出口に一気に殺到したら人が折り重なって動けなくなり、出られない状態になった。
- ②サッカーのスタジアムで試合の観戦中、前の人突然立ち上がり試合が見えない。自分も立ち上がったらく見えるようになった。すると後ろの人もつぎつぎと立ち上がり、結局みんな座ったままでは見えなくなってしまった。
- ③不景気になって、収入が減ってしまった。そこで無駄な支出を節約して、将来の止む得ない出費に備え貯金をすることにした。多少の貯金は出来たが、国民が一斉に同じように消費を抑制し、政府も財政再建のため増税をしたら大不況になってしまった。結果

として収入がもっと減ってしまった。これらは「合成の誤謬」と言います。経済学用語なので知っている人も多いかもしれませんが。「誤謬」なんて普段使わない言葉ですが「あやまり」とか「まちがひ」の意味です。

◆自分にとっては正しく合理的な行動でも、自分以外のみんなも同じように行動すると全体として望ましくない結果を招くこと。

◆ミクロ（個別）では合理的な行動でも、マクロ（全体）では非合理的な結果になること。

これらのように説明される現象が「合成の誤謬」です。

ここで鉄骨業界のことを考えてみたいと思います。

◆若い人が会社に全く入って来ない。人材不足で仕事が滞ってしまうのは困る。求人募集の給料を少し上げてみたが反応は良くない。そこで技能実習生を採用した。若い実習生が入って会社も活気が出た。気がつくとなりの同業者も実習生だらけだ。受注単価は上がって来たものの競争は依然として厳しく、鋼材の値上げ分に取りられて社員の賃上げに満足に回せない。

◆技能実習生が会社に馴染んで、仕事が順調に回るようになった。ほとんど未経験の外国人でも3~5年も居ると技能も日本語も上達して母国へ返すのは惜しい人材が多くいる。そんななか長年業界の念願であった「構造物鉄工

作業」での「特定技能制度」が適用できるようになった。ところが昨今の鉄骨需要は低調に推移していて、受注競争が激化。受注単価も強気の交渉が通らなくなってきた。

もちろんこのような例に当てはまらない立派な会社が少なからずあることは承知の上ですが、自社も含め多くは同じような傾向でないでしょうか。私達、同業者組合（東構協や全構協など）では日々、みんなが良くなるために議論して知恵を絞って活動しています。それぞれの会議や委員会などで出会う人達はみんな聡明で、諸先輩はじめ同世代の経営者たちの素晴らしい会社運営を、私はこれまでずいぶん勉強させてもらいました。

ただ恐れ多くも敢えて物申したいことがかねてよりあります。それは、組合というマクロの業界組織で交わされる議論では「合成の誤謬」の視点を重視してもらいたいのです。例えば「自分の会社は成功している。だから組合でも同様の方法を拡大して推進して行くべきだ」という論法が必ずしも正しいとは限らないのです。マクロ（組合）の存在は、安易にミクロ（企業）の行動や要望に同調せず、マクロにしか出来ない事業や、時には正反対の施策などまったく別の視点でも検討する必要があるのではないかと考えています。

(松田鋼業社長)

第 38 回通常総会を開催

吉岡理事長ら 正副理事長を再任

当組合は昨年 5 月 30 日、東京千代田区のアルカディア市ヶ谷で第 38 回通常総会を開催し、任期満了に伴う役員改選で、吉岡理事長ら正副理事長を再任した。新理事に清時康夫氏（川岸工業）、志村太一氏（アイ・テック）、

山田一臣氏（ヤマダ工業）を選任した。

今年度事業計画では、①次世代経営者の育成への取り組み②出張理事会及び東京鉄構関連 3 団体の研修旅行の開催③性能評価グレード認定のためのサポート体制強化④フェーズドアレイ UT 法検査手法の建築学会での研究発表⑤東構協が提案した入熱・パス間温度の実証実験への協力⑥青年部の主体性のある活動への支持・支援⑦理事会・地区会のあり方の再検討⑧定期的な協

力会との情報交換などの重点項目に取り組む。



コテンラジオ



理事

池田 和隆

毎日の通勤時間、皆さまは何をしていますでしょうか？通勤手段も人それぞれだと思いますが、私はもっぱら車通勤で、会社に片道1時間ほどかけて通勤しています。その間、基本ラジオを聞いています。ラジオでは経済ニュース、事件や事故、渋滞情報などを聞いています。そこで、最近では、友人から教えてもらった「コテンラジオ」にハマっています。

「コテンラジオ？」とお思いの方も多いたと思いますが、YOUTUBEで検索すると出てきます。運転しながら動画を見るのはさすがにマズイので、SPOTIFY（さまざまな音楽があるコンテンツ）で聞いています。「そもそもコテンラジオとは何ぞやっ」となると思いますが、簡単に説明すると、ヤロー3人が、授業では絶対聞けない歴史の細かいところまで掘り下げたネタを含め、歴史上の偉人や歴史上の事件などを、面白可笑しく喋りまくる番組です。ネットの説明文を拝借すると「歴史を愛し、歴史を知りすぎてしまった歴史GEEK 2人と、圧倒的歴史弱者がお届けする歴史インターネットラジオ。学校の授業ではなかなか学べない国内外の歴史の面白さを学び、『人間

とは何か』『現代人の抱える悩み』『世の中の流れ』を痛快に読み解いていく！？笑いあり、涙ありの新感覚・歴史キュレーションプログラム！」とのこと。

日本史から世界史、はたまた現代までさまざまなネタが含まれており、ヤロー3人で収録しているわけですから、もちろん〇〇ネタもたまにあります。すべてのコンテンツを聞いているわけではありませんが、印象的だったものをいくつかご紹介しますと…

1. ガンジーはヘタレだった！
 2. ヒトラーは〇〇な奴だった！
 3. アレクサンダー大王は、めちゃくちゃすごい人、amazonのアレクサの語源
 4. 空海は、日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ級な天才だった！
 5. そもそも武士とは、どうやって武士となったのか？
 6. 第一次世界対戦は、ここまで長期戦になるはずではなかった！
 7. 高杉晋作は、破天荒な奴だった！
- など、列挙するとありすぎるので、ここまでしておきます。

歴史以外にも、たまにゲストがきて面白いネタをしゃべりまくるので、長距離の移動などで、お暇なときは、ぜひ、お聞きください！オススメです！
(池田鉄工社長)

投資について



理事

金本 貴範

一般的に「投資」というと、株や証券などの金融商品を想像する方が多いと思います。また、会社の投資となると土地、建物、機械等の設備投資が一般的だと思われます。しかし、本当の投資は、国が提唱している「人材を資

本として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値の向上につなげる」という「人的資本経営」であり、人への投資が長期的に見て成長し続ける経営が一番大切なことではないかと考えています。

以前、ある先輩経営者が私に言いました。「どんなモノにもいっぱい投資しなさい。キチンとしたやり方であれば、絶対帰ってくるから」。その言葉を耳にしたときは、その先輩の企業規模が大きすぎたため、当時の私にはあまり心に響きませんでした。また、コロナ禍以降、人への投資が思うような結果と成果が出ずに困惑しておりますが、今後も中長期的に継続していきたいと思っています。

今年で創業60年になる弊社の三代目の社長として、初代や2代目と同じように設備投資もしてきました。しかし、私はまだ設備投資をしていることにはならず、成長性にも欠けていると判断をすることになりましたので、今年以降で私の代では最大(?)の設備投資をしていきたいと思っています。

その一例に機械の購入を考えていますが、そのとき一番頼りになるのは助成金の活用です。東京都は幸いにも8.5兆円(特別会計を合わせると16兆円規模でオーストリアの国家予算とほぼ同じ)もの大きな予算があり、これを活用すべく助成金活用を進めております。交付されなければ設備投資の実行には移せないのももちろんではありますが、細かい対応に関するものでは、高齢者採用や有期社員などを無期社員として採用するための数十万の助成金の交付決定を受けることが出来ました。

しかし、助成金の申請に社内の総務の業務時間を費やすため、「助成金疲弊」という言葉があるように、費用対効果が得られなければ少額の助成金は全くの時間の無駄になってしまいます。そのため、上手く見極めて助成金の活用をしていく必要があると考えて



います。

また、今後の社会が ESG 投資「環境 (Environment)」「社会 (Social)」「ガバナンス (Governance)」に移行していく中で、我々町工場も「ESG」に取り組めば「SDG s」達成に繋がる部分もあるでしょう。今後は CN (カーボンニュートラル) から GX (グリーントランスフォーメーション) に移行し、永続的に社会貢献活動を行う中で、企業がどのような形で取り組みが出来るかを実行していかなければいけないと考えています。(日伸鉄工建設社長)

年齢を重ねて思うこと



理事

椎名 輝雄

私は今年で〇〇歳。年齢を重ねるごとに体の衰えを感じるようになってきました。視力の低下すなわち「老眼」がその最たるもので、図面が見えづらく、仕事上困ることこの上ないと言っても過言ではありません。ほかにも、歩行中につまずくことが頻繁にあり、書きたい漢字が出てこない、計算が遅くなった (以前は早かったのに) など、様々な兆候が挙げられます。

わたしと同様に、現在理事に名を連ねている面々の多くが青年部時代からの付き合いですが、今では髪に白いものが混じるなど、互いに加齢に伴う変化は避けがたく、体の衰えについても身に覚えがあるものと勝手に推察しております。

近頃は「人生 100 年時代」と言われるようになりましたが、その折り返し地点 (50 歳) をとうに過ぎ、ふと気づくと体のどこかしらが不調を訴える今日この頃。子ども時代にはあれほど待ち遠しかった誕生日も、ある程度の年齢をすぎると「また一つ歳を

とったなあ」とため息をついてしまうだけで、できれば忘れていたいものの一つといえましょう。

年齢を重ね、いつしか、部下、後輩の立場から上司、先輩の立場になってくると、色々と出費も重なるようになってきますが、まあ、それについては誰もが通る道で、自分の番が回ってきたと納得できます。しかし、老眼のように体が衰えれば、当然、医者にかかる回数が増え、医療費が爆上がりしてくるのは目に見えていても、体調管理に気を付ける以外に対処のしようがなく、言っても詮無いものの、こればかりは納得できません。

ここで一句、「歳が増え／金は増えねど／出てくのは／ため息とお金／ばかりなりけり」。これは現代短歌ならぬわたしなりの啖呵と言えましょう。お粗末。(叶産業社長)

古き良き慣習の再構築



理事

小室 健太

私が日々目指しているのは、建設現場で働く全員が「できなかったことができるようになる」という成長を感じながら、効率的で無駄のない、美しい環境を作ることです。そのためには、業界に根強く残る「昔からこうやってきた」という考え方をもう一度見直す必要があると考えています。

周囲には、長く続く伝統的な手順を守ることで安心を得ようとする雰囲気があります。しかし、現代は AI をはじめとするテクノロジーの発達により、より正確な情報を活用して生産性や安全性を高めることが可能です。私は 37 歳という比較的若い立場であり、業界の次世代を担う者として、こうした新たな視点で建設現場を変革するこ

とに大きな意義を感じています。

私の役割は、鉄骨屋の経営者として現場の問題点を洗い出し、より良い方向へ導くことです。なぜそれが必要なのかと言えば、古い慣習に縛られることで、工期の遅れや無駄なコスト、さらには職人たちが新しい技術に触れる機会を失うといった問題が起きているためです。本質的な原因は、「昔ながら」が無条件に善とされ、改善の余地がないものとして扱われる文化そのものにあります。この結果、職人たちはやりがいや成長を感じにくく、将来の働き手が不足する傾向が強まっています。改善の方針としては、まず「数値化」を進めます。作業時間や作業工数などをデータで示し、無駄を明らかにすることで、職人自身が「もっと効率的に、より安全にできるかも」と考えるきっかけや、「次はもっとこうしてみよう」という成長の機会を生み出します。また、AI による知識の提案を活用して、より作業に集中できる環境を構築することが可能になります。こうしたツールを使うことで、これまで経験と勘に頼っていた部分が明確になり、職人や管理者が安心して新しい方法を試せるようになります。

その先にあるのは、数字に裏打ちされた計画的な作業と、誰もが前向きに成長を感じることでできる、魅力的な建設業界の姿です。そんな世界の実現を、私は心から願っています。

(小室鉄建社長)

ロサンゼルス大谷翔平観戦記



理事

谷村 朋昭

昨年 7 月 21 日、私は念願の、大谷翔平選手が出演するドジャース vs レッドソックスの試合を観戦するた

め、ロサンゼルスへ行ってきました。当日は日曜日ということもあり、スタジアムは熱気と興奮に包まれていました。ドジャーススタジアムに入ると、まず目に飛び込んできたのは、巨大なスコアボードと広大なフィールド。日本円で3,000円ほどするビールを手に試合の緊張感と共に味わうひとときは、まさに格別でした。ビールの価格は日本の金銭感覚からすれば驚くかもしれませんが、非日常の空間で大谷選手の活躍を目の当たりにできるなら、それもまた一興でした。その日は30号記念メモリアルアーチで、ダイソーの看板を超えて場外ホームランをバックネット裏から目の前で観戦することができ、とてもエキサイティングしました。

試合観戦後、観光に繰り出しました。まず訪れたのは、歴史ある「ルート66」の最終地点であるサンタモニカです。海岸沿いの爽やかな風を浴びながら、長年の夢であったアメリカの象徴的な地に立つことができ、感慨深い気持ちになりました。その後、ハリウツドの観光名所として有名なチャイニーズシアターを訪問。世界中のセレブの手形や足形が刻まれた広場を歩きながら、映画産業の歴史とスケールの大きさを感じました。

また、ロサンゼルスで欠かせないスポットであるディズニーランドにも足を運びました。特に印象に残ったのは、人気アトラクション「カーズ」に乗っ

た体験です。映画の世界がそのまま再現されたコースを疾走し、子どもだけでなく大人も心から楽しめるエンターテイメントに感動しました。これほどまでに精巧な設計と施工が可能であることに、同じものづくりに携わる者として大いに刺激を受けました。

今回のアメリカ滞在を通じて、スポーツ、観光、エンターテイメントなど、多くのアメリカ文化に触れる事が出来ました。特に、現地のスタジアムやテーマパークで見たスケールの大きな構造物には、鉄骨ファブリケーターとしての興味をかき立てられました。巨大な構造物が生み出す圧倒的な迫力と、それを支える技術力。この経験を糧に、今後もさらなる技術の向上を目指し、日々精進してまいります。

(谷村製作所社長)

男の子育て



理事代理

寺島 成美

我が家の子ども達は全員が成人を迎え、子育てのゴールが見えてきたような気がしていましたが、親というものは一生ゴールテープを切れないのかもしれないと思うようになった今日この頃です。というのも、数ヶ月前、息子

と同世代であり、東構塾でお世話になっている若手の部下より、おめでたい報告の後に「育児休業」について相談があり、四半世紀前は新米パパだったことをとても懐かしく思いながら話を聞きました。

本人の希望は、自分達世代の時にはなかった「パパ育児」というものでした。私の部署は若い既婚者が少ないこともあり、聞き慣れないワードでしたので、総務課に聞いたりインターネットで調べたりしてみました。

「パパ育児」とは父親が取得する育児休業のことで、日本では法律で父親も育児休業を取得する権利が認められています。特に22年の改正育児・介護休業法により育児休業の取得促進が図られ、父親が育児に関わる時間を確保し、母親の負担を軽減することが目的で、改正後の法律では、子供が生まれた直後に2回まで分割して(延べ4週間)育児を取得でき、企業も男性社員の育児休業取得を支援しているとのこと。

過去の社会では、一般的には母親が主に育児を担当し、父親の関与は比較的少なかった時代がありました。しかし、近年では父親も育児に参加することが推奨され、育児休暇制度の整備や世代間の価値観の変化により「男の育児」が拡大しているようです。

父親が育児に関わることは現代社会でますます重要視されています。父親が積極的に育児に参加することで、家

管理技術者試験準備講習会

1級が203人、同2級が106人受講

当組合は昨年9月28、29の2日間、千代田区の連合会館で鉄骨製作管理技術者受験準備講習会を開催した。

同1級が203人、同2級が106人の計309人が受講した。

同講習会は10月19日に鉄骨技術者

教育センターの主催のもと、全国一斉に実施される本試験のための準備講習会。講師は、鉄骨製作管理技術者1級が加賀美安男氏(日建設計エンジニアリング部門構造設計グループアソシエイト鋼構造エンジニア)、同2級は大塚英郎氏(大林組東京本店建築事業部品質管理部上級首席技師)が担当した。午前中はテキストとOHPを使用しながら鉄骨構造、鉄骨加工、品質管理、

安全衛生、建築法規一般など試験問題の概要や要点などを解説、午後からは模擬試験を実施した。



庭内の負担を分担し、子どもにとっても父親の存在が非常に大切であると認識されるため、将来「孤独な父親」とならないためにも楽しみながら育児をし家族の絆を深めていって欲しいものです。

ここまでは出産予定日前に書いてきましたが、そうこうしているうちに「生まれました！」と報告がありました。母子ともに健康ということでおめでたいことです。まだ「楽しむ」というレベルには達しておらず四苦八苦しているようですが。

この業界も若い世代や外国人労働者が増え多様性の時代となってきました。働きやすい環境を整え「働きがい」を感じることができれば業界発展にも繋がると思います。そのためにも今年一年、業界と日本の発展のために微力ながら貢献していきたいとします。

(川岸工業営業部長)

後世に伝えていく



理事

村木 晃次

昨年を振り返りますと、22年2月に始まったロシアによるウクライナ進攻の長期化は今後NATO諸国への緊張を高め、また、23年10月ハマスによる襲撃を契機にパレスチナ・ガサ地区を中心としたイスラエルとハマス等の戦闘の継続による中東危機や朝鮮半島の緊張の高まりにより、今後更に物価の上昇が進んで行くことが予想されます。そのような情勢の中、台湾、EU、米国、日本など、国内国外を問わず政治変革があり「選挙イヤー」という年でもありました。国のリーダーが自国の利益だけでなく、この地球に生息する生命体の幸福を導く決断を期待したいと思います。また、今年は広島・長

崎原爆投下、敗戦から80年。日本の歴史を今一度勉強し、自分も日本人として対岸の火事で片づけるだけではなく、何か行動したいと思っています。

また、スポーツ面においては、パリ五輪で金20個、銀12個、銅13個、計45個を獲得し、米国・中国に次ぐ3位での入賞を果たし、見ている全ての人々へ勇気と感動を与えました。更に野球では、大谷翔平選手が移籍後すぐに活躍を見せ、ワールドシリーズで優勝を果たし、記録は54本塁打、59盗塁、数々の賞も受賞しました。今年もきっと活躍して我々をわくわくさせてくれる事でしょう。

自分事ですが、東構塾の塾長の青野弘毅さんと前職からの縁があり、昨年、同塾の講義の一環で弊社南関東工場見学と1時間の講義をさせて頂きました。約30人の塾生に、見積項目の意味、受注と工場生産量の関係、工場技術者のバランスの重要性などをお話し出来た事を、今では自分の財産になったと感じています。還暦までもう数年ですが、経験した体現や知識を後世に伝えられるよう、今年も前に進んでいきたいと思っています。

(アイ・テック東京支社・営業部長)

仕事以外の気分転換



理事

山田 一臣

喜ばしいことですが、忙しく仕事に追われる日々を送っています。ここ何年かでの気晴らしと言えば「サウナ」です。仕事の帰り道や、休日の日に色々調べてサウナに出かけています。遠いところではわざわざ新幹線に乗って出かけることもあります。よく「わざわざそんな遠いところまで行くの？」なんて言われますが、行きたいサウナ

があればどこにでも行くのが真の「サウナー」です。

私のホームサウナは埼玉県の草加健康センターです。

(草加健康センター 埼玉県草加市北谷 2 - 23 - 23 <https://yunoizumi.com/souka/>)。

通称「SKC」は、サウナ界では聖地と呼ばれていて、全国からたくさんのサウナーが訪れるほどの有名な場所です。

聖地と呼ばれる由縁は、サウナの温度にあり115℃とかなり高温です。名物の爆風ロウリュウと言うのがあり、建設現場で使用されているブロワーという空気を送る装置で室内の熱風と蒸気を拡散します。かなり暑いですが、気持ちよく汗が出るので、出た後の水風呂が気持ちよく癒されます。水風呂は屋外にあり、床からパイブラという細かい気泡がブクブクと吹き出し、浴槽全体に広がります。水風呂の中で体がじんわり温かくなり、まるで薄い羽衣を纏っているような感覚に陥るのですが、このパイブラが身体の羽衣を崩して冷たさが持続するというのが私たちサウナーを唸らせます。

水風呂 NO.1 といえば、静岡県にあるサウナの聖地、サウナしきじです。(静岡県静岡市駿河区敷地 2 - 25 - 1 <https://www.saunashikiji.jp/>)

しきじ、もサウナの聖地といわれており、その由縁はやはり水風呂。そこに使用されるのは富士山からの湧き水で、天然のミネラル成分を豊富に含んだ奇跡の天然水です。

サウナに入った後に水風呂に入ると、まるで母親の羊水の中にいるような心地良さで、本当に言葉では言い表せないのです！なんと、その水は飲むこともできるため、遠方のお客様はみんな持ち帰るほどです。なんとも口当たり滑らかで、よく買うミネラルウォーターとは比較にならないほど美味しいため、毎回空のスーツケースを持参してペットボトルに汲んで持ち帰

り、帰宅してからも、しきじの水を楽しんでいます。

しきじのサ飯（サ飯とはサウナ施設での食事ですが）は天然水で調理されているため、ご飯も味噌汁もおかずも最高に美味しいのです。生ビールを片手においしいごはんを食べながらのひと時は、普段仕事に追われている毎日の自分の安らぎです。

まだまだ他にも色々なサウナ施設があり、ご紹介したいのですが、全てを書くことができないのでこの辺で終わりに致します。サウナに興味ない方も一度行ったらハマること間違いありません。是非行ってみてください。

（ヤマダ工業社長）

4週間の育児日記



東構塾

山本 響介

東構塾 9 期生 川岸工業の山本響介です。この度、24 年 11 月に子どもが産まれました。身長 51cm、体重 3,080g の元気な女の子です。つい最近まで学生だった私も気づくと父親になり、心機一転、心を新たにしている次第です。

さて、出産に伴い、会社には「パパ育児休暇」を申請して約 4 週間夫婦二人三脚で育児に取り組みました。今回は 4 週間の育児休暇をこの場を借りて振り返ってみたいと思います。正月早々明るい話題を提供できればと思った次第です。

娘が生まれてから最初の週は、初めて尽くしに奮闘する日々でした。ミルク作り、おむつ替え、沐浴など、やることは盛り沢山ですが、不器用な私は何をやるにしても上手いはず、とにかく全ての作業で苦労しました。一方で、私の妻は介護職に就いているため、慣れたようすでこれらを済ませ、最終

的には私が妻から指導を受けそれぞれのやり方を覚える日々でした。夫婦で試行錯誤しながら、慣れない育児をこなした 1 週目は、育児の「い」の字を学習する良い勉強期間となりました。

2 週目は、ミルク作りやおむつ替えなども慣れ始め、子どものようすを見る余裕も出てきました。以前のように妻から指導を受けることも減り、心も軽くなってきたのですが、今度は夜の寝かし付けに苦労しました。昼間は可愛い寝顔でスヤスヤ寝てくれるのですが、夜だけは泣きでなかなか寝付いてくれません。この経験をされた方は多数いらっしゃると思いますが、そんな時、山本家では昭和の音楽を聞かせることにしています。私の母曰く、赤ちゃんは昭和の曲に弱いそうです。そのアドバイスを信じて荻野目洋子の「ダンシング・ヒーロー」を流すと、わが子も大抵の場合泣き止んで熟睡してくれることが分かり、寝かし付けも随分と楽になりました。このように、2 週目は最良の寝かし付けを覚える、そんな週となりました。

3～4 週目は生活のリズムが整い、1～2 週目より随分と落ち着いて生活することが出来ました。一人で留守番する日もありましたが、ひと通り回せるくらいには慣れ、1 週目の時と比べると夫婦共々随分と成長したと思う次第です。子供の面倒を見ていると一日があつという間に終わってしましますが、3～4 週目は育児という時間を楽しむことが出来た週となりました。

こうして 4 週間の育児休暇期間を改めて振り返ってみると、育児は大変なこともあります、子どもの顔を見るとそんなことは忘れてしまうものです。父親になって初めて、「子どものためなら頑張れる」と自分の親が言っていた意味がよく分かります。今年父親として、仕事も育児も全力で取り組んでいこうと思いますので、皆様ご指導の程よろしくお願い致します。

（川岸工業営業部営業課）

ネット上の誹謗中傷に思う



事務局長

蓬田 正則

近年、日本社会においてネット炎上が増え、過激化しており、在留外国人の日本への不満や特定の個人・企業への誹謗中傷、政治的な対立など、その内容は多岐にわたる。昔は、近隣とのトラブルを円満に解決するため、地域社会が一体となって問題に対処してきたが、バブル後の価値観の多様化や個人情報保護の重視される現代では、人々の間に深い溝が生まれ、互いを尊重し合う心が失われつつある。

特に、ネット上では、匿名性を隠れ蓑に感情的な攻撃やデマが拡散し、一部の過激な意見があたかも世論であるかのように拡散され不安を煽る。一方で、日本文化や伝統を愛し、積極的に日本社会に溶け込もうとする外国人の存在も目立ち、彼らは、忘れていた心の豊かさや日本の伝統文化の素晴らしさを再認識させてくれる。

日本社会が抱える問題は単にネット上の誹謗中傷や差別だけではなく、人々の心のゆとりが失われ、共感や連帯感が薄れていることが根本的な原因ではないだろうか。まずは、ネット情報に対する情報の真偽を判断する能力を磨き、地域社会におけるコミュニケーションを活性化し、互いを理解し合う努力を続ける必要がある。そして、多様な価値観を認め合い、共存していくための教育を推進すべきである。更には、国や企業もネット上の誹謗中傷や差別に対して厳しく対処し、健全なネット社会の実現に向けて取り組む必要がある。日本社会が再び、温かく、人々が安心して暮らせる社会へと生まれ変わるために、一人ひとりが行動を変えていかなければならない。

寄稿

(株)ダイヘン
新製品の案内

野村産業 野村 宗孝

今回ご紹介するのは、2023年の11月11日に出張理事会で見学研修をしていただいた(株)ダイヘンが2024年9月に発売した、半自動溶接機「Welbee The Short Arc」を紹介します。

開発の背景

ダイヘンは、溶接事業を開始した1934年から90年間、造船業をはじめ、鉄骨・橋梁・自動車・製缶・板金業界で活用されてきました。常に最先端の技術で高度化・省エネに貢献しており、中でも、350Aクラスの半自動溶接機はラインナップも多くなっており、しかし、機種が多いため、技能レベルや溶接姿勢、使用環境価格など考慮して選定していただければならないことがお客様の悩みでもありました。

新製品では、5機種を1機種に統合し、従来機の良いところを残しつつ、さらに使いやすい溶接機「溶接機の決定版」として高能率化・省エネ（脱酸素社会の実現）と脱技能化・労働力不足の解消に貢献しています。

製品の特長

誰でも容易に高品質かつ効率的な溶接が可能…独自の新波形制御を採用、手振れや溶接姿勢などの影響を抑えた安定したアークを実現。低スパッタモードを標準搭載、大粒のスパッタ発生を抑制し、後工程を大幅に削減。また、知りたいQ & A形式でサポートする「溶接アドバイザー機能」を新規搭載、溶接の困りごとに対し、最適な内部機能や調整項目を溶接機から提案。厚板と継手形状を選択するだけで最適な溶接条件を自動設定。各機能の詳細やエラー発生の対処法を表示、その場で必要情報の確認が可能。

ハイエンド性能をミドルレンジ価格で提供…従来のハイエンド機と同等以上の性能・機能を有しながらミドルレンジ機並みの価格

高い省エネ性能と信頼性の向上…溶接時のエネルギー消費効率を高め消費電力・CO2排出量を20%抑制。精密部品搭載エリアに粉塵が入り込まない分離構造サイドフロー構造によりケースを開けずにエアブローが可能。高い堅牢性、信頼性、メンテナンス性を実現。

ワンランク上の使いやすさを叶える周辺機器…4ロール送給方式によるパワフルなワイヤ送給性能はそのままに、最軽量10Kg（従来比25%）の軽量化を実現。握りやすく形状を一新したトーチハンドル疲れにくく操作性が大幅に向上。

野村産業株式会社 野村 宗孝
〒206-0812 稲城市矢野口786-1
TEL 042-377-6369
FAX 042-377-6375
Email:m.nomura@nomura-s.co.jp



出張理事会を
宮城県で開催

山村東北事業所の工場を見学

当組合は昨年11月14、15の両日、出張理事会を開催し、研修行事として宮城県亘理町の山村東北事業所の工場を見学した。山村は千葉県に本社を置き、群馬県で複数の厚板加工拠点を持

つ鋼板加工メーカー。今春から東北事業所を新設し、稼働を本格化している。する連続加工システムに注目が集まった。

工場概要の説明を受けた後、工場の生産ラインや加工設備を見学。特に世界初となるアマダ10隼ファイバーレーザー「LC-VALSITER-6225AJ」に、パレットチェンジャー「AS-6335TSS」2台で構成



協力会も参加、 情報を交換

東・西地区会を開催

当組合の西地区会（地区会長＝坂爪幸男・坂爪建鉄工業社長）は9月8日、地区会員や協力会メンバーら約20人を集め、八王子市の京王プラザホテル八王子で地区会を開いた。

冒頭のあいさつで坂爪地区会長は、健康を話題に取り上げ、「業務を快適に行ううえで何よりも健康が第一。なかでもストレスは体調によくない。仕事や日常生活で精神的に負荷がかからないよう意識してほしい」と述べた。また、吉岡理事長の来賓あいさつの後、行われた地区会では、業況や自社の労働問題と取り組みなど、身近なテーマをフリートーク形式で話し合ったほか、協力会員らが製品や事業をPRした。



一方、東地区会（地区会長＝角鹿勝保・角鹿鉄工専務）は9月18日、地区会員や協力会メンバーなど約20人を集め、葛飾区の居酒屋魚銀で地区会を開催した。

吉岡晋吾理事長（吉岡工業社長）は冒頭で「足元の仕事量が薄いという感じはあると思うが、仕事が全く無くなるということはない。今後も現場工事など東京でしかできない仕事や、大型物件に関連して細かい仕事が必要。また、他の鉄構組合でも共同製作をやっている話は聞くが、中でも東京は活発に協力し合っているように思う。さらに、当組合にはゴルフコンペ、講習会、工場見学など多くの行事がある。こうした横の繋がりを強みにして、引き続き事故などに留意してやっていただきたい」とあいさつした。また、協力会7社が自社事業や商品のPRをした。



青年経営者委員会が台湾研修 技術力や環境認識の高さに驚き

当組合青年経営者委員会（会長＝池田和隆・池田鉄工社長）は10月17～19日の日程で台湾研修事業を行った。参加者は、同青年経営者委員会の池田会長ら計8人で、一行は半自動ワイヤーメーカーの廣泰金属工業と台湾最大のファブとして知られる長栄鋼鉄の両社を見学した。廣泰金属工業では、ワイヤーの製造工程を、また、長栄鋼鉄では鉄骨の製作工程を見て回った。とくに長栄鋼鉄の第一工場の敷地面積は20万平方メートル、第二工場は15万平方メートルと広大で、月1～1.5万トンを生産する。参加者は一様に、台湾のメーカーの技術力や環境に対する認識の高さに驚いていた。



静岡県の渡邊鐵工所を 見学

全国R・Jグレード部会連絡会

全国R・Jグレード部会連絡会（会長＝松枝建次・松枝興業社長）は昨年9月13日、全国の会員約30人を集め研修行事の一環として静岡県のHグレード、渡邊鐵工所（藤田芳高社長）で工場見学を行った。

一行は、まず同社の会議室で沿革や生産体制などの概要、特徴を座学で学び、同社統括管理部の杉本訓康・取締

役部長が、近年注力している3次元モデルや全自動ロボットの活用といった取り組みを紹介した。

この中で、3次元ソフトとロボットを活用して、部材の自動仕分けシステム「SPS（SCANNING&PLATE・SORTING）」と梁の全自動組み立てシステム「SBA（STEEL・BEAM・ASSEMBLER）」などの同社独特の生産体制について詳細な説明を受けた。

引き続き、2班に分かれて工場を見学した。その後、一行は静岡市内で静岡県鐵構工業協同組合と交流会を開催

した。松枝会長が「日本にも数台しかない最新の生産システムの見学会を依頼した。そのご快諾に感謝するとともに、今後とも交流を進めてほしい」と謝辞を述べた。



理事役員会報告

◆1月理事会◆

□1月18日、アルカディア市ヶ谷□

吉岡理事長はあいさつで「仕事量が薄い状況が続いているが、大型物件は来年から本格的に始動すると聞いている。その意味では今年は我慢の年になる。情報共有や製作協力などでこの難局を乗り切ってほしい」と述べた。

当日は、審議事項としてナップVRシステム機器の購入などを協議した。このうちナップVRシステム機器の購入に関しては事業計画書を作成し、それに基づき次回理事会で再審議することにした。

引き続き、同所で来賓や協力会会員、組合員ら約60人を集めて新年賀詞交歓会を開催した。



◆2月理事会◆

□2月15日、組合会議室□

理事会では、とくに報告事項のPA（フェーズドアレイ）検査法確立WGの活動について、吉岡理事長が、「一定の成果を得られていることから全国鉄構工業協会・鉄骨技術助成制度の継続申請は今回、見送ることにした。ただ、標準化や社内検査への普及に向けた取り組みなどを今後も継続していく必要がある。そのためにWGは存続させ、検討作業を続けていく」と今後の方針を明らかにした。理事会の開催回数についても審議。8月を除き、理事会は毎月の開催としているが、組合員や協力会の交流のほか、東・西地区会の活性化を目指して今後、効率的な運用を検討していくこととした。

◆3月理事会◆

□3月14日、組合会議室□

理事会では5月に開催する通常総会の2023年度事業報告や2024年度事業計画の内容などを協議、総会開催案内や議案の送付状などを確認した。

さらに4月に実施する鉄工建設業協同組合、東京足立鉄骨工業会など東京鉄構関連3団体との研修旅行についても協議した。

理事会終了後には、スリーエムジャパンの担当者が工業用研磨材の新ブランド「キュービトロン3」シリーズの概要などを紹介した。



◆4月理事会◆

□4月25日、組合会議室□

理事会では全構協、関東支部、組合委員会、部会などの事業活動を報告。このうち10月期理事会は関東支部の出張理事会との兼ね合いから、行わないこととしたほか、8月期に東・西各地区会の開催を決めた。また、東構塾では11月にアイ・テック南関東工場への工場見学を予定していることを報告。さらに、審議事項では5月に開催する通常総会の2023年度事業報告・収支決算や2024年度事業計画の内容などを協議、総会開催案内や議案の送付状などを確認した。とくに今年度は役員改選期となり、役員変更や候補者



などの人選についても協議した。

◆5月理事会◆

□5月30日、アルカディア市ヶ谷□

今後の理事会の日程などについて確認。また、当日、同所で行う第38回通常総会の運営の審議を行った。

報告事項のなかのHグレード部会報告では、昨年秋口から現在までの物件数は薄く、稼働率は60～80%を確保している状態で、材料費や運搬費の上昇を加工費に転嫁できないとする声のほか、安値基調に転じているため、来年までは厳しい状況が続くのではないかと報告が目立った。

図面承認や物価のスライドが単価に反映できないなどの問題が常態化する中で、契約時点で受注できるかどうかを慎重に検討する必要があるとの意見も見られた。

◆6月理事会◆

□6月27日、組合会議室□

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「現在、工事の延期が相次いでいるため全国的に仕事量が薄く、単価の下落が懸念されているが、無理せずに適正価格での受注を念頭に、仲間内での共同製作などで乗り切ってほしい」と述べた。

理事会では、全構協や関東支部会の役員改選に伴う新人事や各委員会の活動報告、今後の理事会や地区会の日程などを確認した。また、1社の組合員脱退や理事会役員の担当などを審議、承認した。各グレード部会から「価格競争に巻き込まれない堅実な経営が重要だ」という意見で一致した。

◆7月理事会◆

□7月30日、組合会議室□

理事会では全構協・関東支部運営委員会の実質生産高調査結果について同組合の東西地区会での報告が審議の上、承認された。また、教育・技術委員会が9月末に行う鉄骨製作管理技術者講習会の申込者数が1級210人、2

級 112 人であり、なかでも、外国人受
験者が増加していることが報告され
た。

Hグレード部会の報告では業界全体
の賃金や輸送費、鋼材単価の上昇、労
働時間短縮などの影響を受け、工事の
中止・延期が大型物件で相次ぎ、材料
価格が高止まりの中でも、やむを得ず
仕事量の確保を最優先にしているとい
う声もきかれた。また、鉄骨の落下事
故など重大事故も発生しており、今後
も労働環境の整備には注意が必要との
意見もあった。



◆ 9月理事会 ◆

□ 9月 12日、組合会議室 □

報告事項では、全構協と鉄建協との

共同陳情や、特定技能制度の一部改正
などを報告した。また、全鉄評から大
臣認定工場の性能評価内容に関する変
更届提出徹底の周知や、吉岡理事長が
8月末に建築学会で行ったフェーズド
アレイ検査法WGの発表について報告
があった。このほか、青年経営者委員
会の研修旅行や東構塾が実施する 11
月の工場見学などの活動報告を行っ
た。さらに組合広報誌「リポート東構
協」の来年 1 月の発行を決めた。

◆ 11月理事会 ◆

□ 11月 21日、組合会議室 □

Mグレード、Hグレードファブから
の市況報告ではいずれも、「春頃まで
は山積みを確認しているものの、共同
製作などで手堅く仕事量を維持してい
く」との声や、「来秋以降の物件が安
価でのオファーなため、受注に悩んで
いる」「価格を理由にした失注もある
ので、より一層の適正受注を目指し続
けたい」との声が目立った。また、海
外鉄骨の参入について吉岡理事長は

「設計の変更が反映されていない製品
が納入されるため、日本のファブによ
る品質の手直しが必要な場合もあると
いう話を聞く。安価で供給することよ
りも、我々は引き続き品質を保証する
ことが重要だ」と意見を述べた。

◆ 12月理事会 ◆

□ 12月 16日、組合会議室 □

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「厳
しい状況が続いているが、受注価格の
適正化に各社とも努力してほしい。仲
間意識を持って情報を交換しながら、
みんなで頑張っていきたい」と協力体
制の強化を呼びかけた。

理事会では全構協、関東支部、組合
委員会、部会などの事業活動を報告。
このうち、東構塾では来年 3 月に第 9
期卒業研修の実施を予定していること
を報告。さらに、審議事項では組合ホ
ムページのあり方について協議、また、
1 月 16 日開催予定の賀詞交歓会のス
ケジュール、役割分担、来賓参加予定
者について審議した。

地区会員名簿

東地区(26社) 地区会長 (株)角鹿鉄工 角鹿勝保

| No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード |
|----|--------------------|------|----|-------------|------|----|------------|------|
| 1 | 川岸工業株式会社 | H | 10 | 中央鋼材株式会社 | M | 19 | 株式会社コイワ | 未 |
| 2 | 叶産業株式会社 | H | 11 | 株式会社日伸鉄工建設 | M | 20 | 株式会社長谷川工業 | 未 |
| 3 | 株式会社市川スチールエンジニアリング | H | 12 | 中央ビルト工業株式会社 | M | 21 | 有限会社矢萩鉄工 | 未 |
| 4 | 株式会社谷村製作所 | H | 13 | 株式会社ヤマダ工業 | M | 22 | 株式会社奥村鉄構 | 未 |
| 5 | 株式会社アイ・テック | M | 14 | 鈴木鉄工建設株式会社 | M | 23 | 株式会社幸栄工業 | 未 |
| 6 | 株式会社前田製作所 | M | 15 | 有限会社高市工業 | R | 24 | 津覇車両工業株式会社 | 未 |
| 7 | 吉岡工業株式会社 | M | 16 | 株式会社角鹿鉄工 | R | 25 | 有限会社三鈴鉄工 | 未 |
| 8 | 株式会社中込工業所 | M | 17 | 三進建鉄有限会社 | R | 26 | 株式会社オオタケ | 未 |
| 9 | 富士工業株式会社 | M | 18 | 小久保鉄工株式会社 | R | | | |

西地区(22社) 地区会長 (有)坂爪鉄建工業 坂爪幸男

| No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード | No | 会社名 | グレード |
|----|--------------|------|----|-------------|------|----|----------------|------|
| 1 | 株式会社矢嶋 | H | 9 | 井戸鉄建株式会社 | M | 17 | 株式会社酒多鉄工所 | R |
| 2 | 東京建鉄株式会社 | H | 10 | 株式会社かしや建設工業 | M | 18 | 有限会社天野鉄工所 | R |
| 3 | 松田鋼業株式会社 | H | 11 | 株式会社三侑鉄工 | M | 19 | 有限会社山上建設工業 | R |
| 4 | 池田鉄工株式会社 | M | 12 | 有限会社坂爪建鉄工業 | M | 20 | 有限会社石川鉄工所 | R |
| 5 | 日本鉄構建設工業株式会社 | M | 13 | 有限会社金谷鉄工所 | M | 21 | 株式会社帝都建工 | 未 |
| 6 | 小島工業株式会社 | M | 14 | 株式会社小室鉄建 | M | 22 | 有限会社スチール加工センター | 未 |
| 7 | 株式会社鎌建工業 | M | 15 | 株式会社ヤマトミ | M | | | |
| 8 | 井上鉄工株式会社 | M | 16 | 島崎工業株式会社 | M | | | |

東京鉄構工業協同組合協力会員名簿

| 役職 | 会社名 | 〒 | 住所 | TEL | FAX | 代表者 | 役職 | 業種・取扱商品 |
|-----|------------------------------|----------|--|---|--------------|---------|---------|----------------------------------|
| | | | | E-mail | | 担当者 | | |
| 会長 | 野村産業株式会社 | 206-0812 | 東京都稲城市矢野口 786-1 | 042-377-6369 | 042-377-6375 | 野村 宗孝 | 代表取締役社長 | 高圧ガス、溶接機材、工具 産業機器、ボルト、住設機器 |
| | | | | m.nomura@nomura-s.co.jp | | 伏見 翔太 | 所長 | |
| 副会長 | 富士見興業株式会社 | 166-0003 | 東京都杉並区高円寺南 1-27-11 | 03-3314-1430 | 03-3314-5819 | 石塚 勲 | 代表取締役社長 | 高圧ガス、溶接材料 機械、工具 |
| | | | | honbu@fujimikougyo.co.jp | | 市川 陽亮 | 主任 | |
| 幹事 | 大日本塗料株式会社 東京営業所 | 144-0052 | 東京都大田区蒲田 5-13-23 TOKYU REIT 蒲田ビル 8F | 03-5710-4501 | 03-5710-4520 | 山田 昌史 | 所長 | 全構協指定塗料 錆止め塗料 |
| | | | | nemoto-taka@star.dnt.co.jp | | 根本 隆史 | 課長代理 | |
| 幹事 | 株式会社アマダマシナリー | 260-0041 | 千葉県千葉市中央区東千葉 3-15-32 | 043-207-5235 | 043-207-5258 | 小宮 健夫 | 関東ブロック長 | バンドソー用ブレード |
| | | | | tkomiya@amada.co.jp | | | | |
| 幹事 | 大同生命保険株式会社 東京支社 | 103-0016 | 東京都中央区日本橋小網町 17-10 日本橋小網町スクエアビル | 03-3667-8121 | 03-3667-8122 | 道村 修 | 営業推進部長 | 生命保険 共済保険 |
| | | | | michimura.osamu.751706@daido-life.co.jp | | | | |
| 幹事 | 中村鉄興株式会社 | 359-1164 | 埼玉県所沢市三ヶ島 1-478 | 04-2948-0610 | 04-2949-2209 | 中村 弘美 | 代表取締役 | 切り板 孔あけ |
| | | | | ntk@viola.ocn.ne.jp | | | | |
| 幹事 | 東京フラッグ株式会社 八潮支店 | 340-0833 | 埼玉県八潮市西袋 2 番地 | 048-953-9895 | 048-953-9896 | 滝沢 健一 | 取締役支店長 | スタッド溶接工事 材料販売 |
| | | | | stub@yu-shu.co.jp | | | | |
| 監査 | ダイニッカ株式会社 東京支店 | 104-0032 | 東京都中央区八丁堀 1-9-5 | 03-3552-3163 | 03-3552-3162 | 黒須 俊一 | | 全構協指定塗料 錆止め塗料 |
| | | | | S-KUROSU@star.dainikka.co.jp | | | | |
| | 株式会社星和 | 121-0052 | 東京都足立区六木 2-6-30 | 03-3605-0817 | 03-3605-3521 | 星野 傳弘 | 代表取締役 | 鋼材、建築資材 ボルト、ナット、仮設機材 |
| | | | | seiwa@seiwa-web.net | | 小嶋 清高 | 専務取締役 | |
| | 所沢資材株式会社 | 359-0032 | 埼玉県所沢市若松町 852 | 04-2992-0231 | 04-2998-0570 | 小高 進一 | 部長 | ベースパック ハイベース |
| | | | | odaka@tokoshi.jp | | 佐藤 庄悟 | 主任 | |
| | フルサト工業株式会社 神奈川営業所 | 242-0025 | 神奈川県大和市代官 3-1-2 | 046-267-5424 | 046-268-1051 | 立岩 嵩章 | 所長 | 鉄骨副資材 ボルト |
| | | | | takaaki.tateiwa@furusato.co.jp | | | | |
| | 美鈴印刷紙工株式会社 | 135-0033 | 東京都江東区深川 2-24-11 | 03-3643-4485 | 03-3642-3265 | 飯島 康弘 | 代表取締役 | 印刷・原寸用フィルム 製造販売 |
| | | | | film-1@misuz.co.jp | | 佐藤 智輝 | 商事部部长 | |
| | 株式会社瑞穂鋼建 | 277-0054 | 千葉県柏市南増尾 1-27-14 | 04-7173-6652 | 04-7173-8485 | 塚田 武治 | | ベースパック、フリードーナツ ファブラックス |
| | | | | tsukada@mizuhokohken.co.jp | | | | |
| | 株式会社山村 | 372-0022 | 群馬県伊勢崎市日乃出町 644-1 | 0270-24-7712 | 0270-24-9791 | 内山 直哉 | 常務取締役 | レーザー加工、プラズマ加工 ショット加工、開先加工、ボルト |
| | | | | youdan@maple.ocn.ne.jp | | 斎藤登志光 | 営業係長 | |
| | 旭化成建材株式会社 住建事業部 東京構造資材営業部 | 101-8101 | 東京都千代田区神田神保町 1丁目 105 番地 | 03-3296-2843 | 03-3296-3518 | 田中 佑来 | | ベースパック、フリードーナツ ファブラックス |
| | | | | tanaka.yhk@om.asahi-kasei.co.jp | | | | |
| | コンドーテック株式会社 東関東営業所 | 262-0003 | 千葉県花見川区宇那谷町 1504 番 2 | 043-216-6166 | 043-216-0072 | 山本 幸明 | 所長 | 鉄骨副資材 プレース、ボルト |
| | | | | y-yamamoto@kondotec.co.jp | | 加藤 翔太 | | |
| | HANABI 株式会社 | 123-0841 | 東京都足立区西新井 6-30-6 | 03-5376-1378 | | LE LONG | 代表取締役社長 | 人材派遣、建設設計 ベトナム鉄工所 |
| | | | | lelong.hanabigroup@gmail.com | | | | |
| | 茅ヶ崎総合コンサルティング | 104-0045 | 東京都中央区築地 3-2-3 | 090-1795-3117 | | 阿部 信一 | 代表取締役 | コンサルティング業 |
| | | | | Chigasakisogo.c@gmail.com | | | | |

編集後記

近年、製造業はデジタル化と持続可能性という二つの大きな潮流に大きく揺り動かされ、建築業界、特に鋼構造製造業においても、その影響が顕著となっている。

BIM や AI、ロボットといった先端

技術の導入により、設計から施工までの効率化が進み、LCA に基づいた環境負荷の少ない建物の建設が可能になりつつあり、また、再生可能エネルギーの活用も進み、より持続可能な社会の実現に貢献している。

一方で、厳しい労働環境を抱える鉄構企業も多く、デジタル化による生産性向上は、課題解決の手段の一つとな

るだけでなく、働き方改革や安全性向上にも寄与できる。

デジタル技術との融合、サプライチェーン全体の最適化、新たなビジネスモデルの創出など、様々な取り組みを通じて、より魅力的で持続可能な鉄構業界へと生まれ変わることを期待したい。

(事務局長 蓬田正則)